



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月12日

上場会社名 尾家産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7481

URL <http://www.oie.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 尾家 啓二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部副本部長

(氏名) 小笠原 拓正

TEL 06-6375-0158

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	55,126	4.6	522	△18.1	573	△16.8	308	△16.0
25年3月期第3四半期	52,726	4.0	638	4.4	689	4.7	367	43.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	33.39	—
25年3月期第3四半期	39.73	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	26,494	10,923	41.2	1,180.70
25年3月期	23,797	10,739	45.1	1,160.89

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 10,923百万円 25年3月期 10,739百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
26年3月期	—	9.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,000	5.8	730	1.8	810	0.7	440	6.8	47.56

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	9,255,000 株	25年3月期	9,255,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	3,630 株	25年3月期	3,600 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	9,251,388 株	25年3月期3Q	9,251,433 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	7
第3四半期累計期間 .....	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、安倍政権による金融政策を始めとする大規模な経済政策への期待感から、円安、株高が更に進み、輸出関連企業の収益には改善が見られました。景気回復から個人消費の持ち直しも見られる一方、円安による原材料費の高騰、電気料金や燃料費の値上げ等懸念材料もあり、依然先行きは不透明な状態であります。

当社の主要取引先であります外食業界におきましても、一部の業態（ファミリーレストラン、焼肉等）では回復の兆しが見られましたが、依然として低価格化や消費者の節約志向により厳しい競争を余儀なくされています。

このような経済環境の下、当社は長期的目標であります「いい会社を作ろう」を目指し、平成25年4月より、第二次3ヶ年中期経営計画「チャレンジ!!スマイルOne」を実行しております。当期は、基本方針として「取組先の深耕・拡大」「業務改善」「予算達成」を掲げ、全社を挙げて計画達成に向けて取り組んでおります。

営業政策としましては、5月から6月にかけて病院、高齢者施設等を対象に「やさしいメニューセミナー&提案会」を大阪、東京、名古屋、福岡で開催しました。8月から9月には、秋季提案会を全国15会場で開催し、新規のお客様を含め7千名以上が来場されました。メインテーマを「翼 はばたく未来へのイノベーション」とし新商品、メニュー、受発注システム等の提案は高く評価をいただき、採用につながりました。

また、各地においても業種・業態を絞った「ミニ提案会」を開催し、お客様のお役に立てるよう活動しました。営業面では、既存のお客様との取り組みを深化させ、平行して新規得意先開拓に努力いたしました。

11月から12月末まで恒例の「第7回年末大感謝セール」を主要メーカーの協力により実施し、お客様に1年分の感謝の気持ちとして利益を還元いたしました。

更に新しい食文化として定着してきました「年明けうどん」のメニュー提案とその採用に向けて取り組みました。

当第3四半期累計期間において営業拠点の変更はございませんが、7月に東京支店、12月に横浜営業所に物流業務（倉庫内作業）の精度向上と効率化を図るために「ボイスシステム（音声による入出庫作業と在庫管理システム）」を新たに導入し、先行導入している大阪支店、阪南支店と合わせ4事業所となりました。

物流業務の効率化を目指すために、平成26年3月に新潟営業所を新築移転できるよう着工いたしました。

9月末に東京広域営業部を東京都港区西新橋に移転し、併設のテストキッチンを活用し多くのお客様へ個別プレゼンテーションを実施いたしております。

12月末現在、全国47事業所（11支店、33営業所、1物流センター、サンブラザ2店（業務用食品スーパー））となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高551億26百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益5億22百万円（前年同期比18.1%減）、経常利益5億73百万円（前年同期比16.8%減）、四半期純利益3億8百万円（前年同期比16.0%減）と増収減益となりました。

なお、当社は食品卸売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期末の総資産は、264億94百万円となり、前事業年度末と比較して26億96百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金が5億45百万円増加し、売掛金が15億83百万円増加したこと、商品が10億13百万円増加したこと、未収入金が2億41百万円減少したこと、繰延税金資産が1億53百万円減少したこと及び有形固定資産が2億5百万円減少したことによります。

#### (負債)

負債は155億70百万円となり、前事業年度末と比較して25億13百万円の増加となりました。主な要因は、買掛金が29億24百万円増加したこと、その他流動負債が1億4百万円増加したこと、賞与引当金が2億85百万円減少したこと及び未払法人税等が1億91百万円減少したことによります。

#### (純資産)

純資産は109億23百万円となり、前事業年度末と比較して1億83百万円の増加となりました。主な要因は、繰越利益剰余金が1億44百万円増加したことによります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,283,808	4,828,915
受取手形	28,803	36,642
売掛金	8,612,707	10,196,342
商品	2,066,917	3,080,733
繰延税金資産	234,462	79,957
未収入金	1,007,157	766,045
その他	33,082	103,009
貸倒引当金	△18,141	△21,484
流動資産合計	16,248,798	19,070,162
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,412,617	1,361,177
減価償却累計額及び減損損失累計額	△599,168	△595,348
建物(純額)	813,449	765,829
建物附属設備	2,594,603	2,602,431
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,777,115	△1,883,364
建物附属設備(純額)	817,488	719,066
構築物	139,618	139,618
減価償却累計額及び減損損失累計額	△102,831	△106,716
構築物(純額)	36,786	32,901
機械及び装置	184,422	184,422
減価償却累計額	△139,318	△146,522
機械及び装置(純額)	45,103	37,899
車両運搬具	170,939	77,789
減価償却累計額	△145,562	△70,611
車両運搬具(純額)	25,377	7,178
工具、器具及び備品	687,427	730,048
減価償却累計額及び減損損失累計額	△489,876	△555,297
工具、器具及び備品(純額)	197,551	174,750
土地	2,644,898	2,637,627
有形固定資産合計	4,580,656	4,375,254
無形固定資産		
ソフトウェア	148,272	131,988
ソフトウェア仮勘定	9,520	21,900
電話加入権	26,614	26,614
施設利用権	451	375
無形固定資産合計	184,857	180,878

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	827,385	892,197
差入保証金	1,501,081	1,488,798
会員権	35,240	35,240
保険積立金	30,960	30,960
破産更生債権等	54,316	79,825
繰延税金資産	380,505	381,115
その他	15,384	13,498
貸倒引当金	△61,308	△53,820
投資その他の資産合計	2,783,565	2,867,816
<b>固定資産合計</b>	<b>7,549,079</b>	<b>7,423,949</b>
<b>資産合計</b>	<b>23,797,878</b>	<b>26,494,111</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	9,638,046	12,562,507
リース債務	136,400	95,612
未払金	101,841	35,104
未払費用	899,180	939,318
未払法人税等	191,310	—
賞与引当金	405,000	120,000
役員賞与引当金	18,000	—
資産除去債務	—	3,599
その他	19,816	123,995
流動負債合計	11,409,595	13,880,138
<b>固定負債</b>		
リース債務	158,292	152,511
退職給付引当金	1,032,176	1,081,291
役員退職慰労引当金	238,145	231,869
資産除去債務	195,356	197,258
その他	24,424	27,924
固定負債合計	1,648,395	1,690,854
<b>負債合計</b>	<b>13,057,990</b>	<b>15,570,992</b>

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,305,700	1,305,700
資本剰余金	1,233,690	1,233,690
資本準備金	1,233,690	1,233,690
利益剰余金	7,964,437	8,106,824
利益準備金	154,131	154,131
その他利益剰余金	7,810,306	7,952,693
特別償却積立金	9,408	7,644
別途積立金	4,600,000	4,600,000
繰越利益剰余金	3,200,897	3,345,048
自己株式	△2,852	△2,876
株主資本合計	10,500,975	10,643,338
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	238,912	279,780
評価・換算差額等合計	238,912	279,780
純資産合計	10,739,888	10,923,118
負債純資産合計	23,797,878	26,494,111



(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	52,726,707	55,126,949
売上原価	44,118,856	46,522,009
商品期首たな卸高	1,868,195	2,066,917
当期商品仕入高	45,171,530	47,535,825
商品期末たな卸高	2,920,868	3,080,733
売上総利益	8,607,850	8,604,939
販売費及び一般管理費	7,969,479	8,082,051
営業利益	638,371	522,887
営業外収益		
受取利息	6,442	4,241
有価証券利息	42	—
受取配当金	11,771	13,759
受取賃貸料	24,864	23,485
雑収入	16,872	14,371
営業外収益合計	59,994	55,858
営業外費用		
支払利息	5,683	3,755
貸倒引当金繰入額	1,000	—
雑損失	2,032	1,360
営業外費用合計	8,716	5,116
経常利益	689,649	573,629
特別損失		
固定資産除却損	3,985	—
減損損失	11,695	—
特別損失合計	15,680	—
税引前四半期純利益	673,969	573,629
法人税、住民税及び事業税	197,833	133,697
法人税等調整額	108,574	131,019
法人税等合計	306,407	264,717
四半期純利益	367,561	308,911

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

該当事項はありません。